

船舶事故等調査報告書

平成21年3月26日

運輸安全委員会(海事専門部会)議決

| | | |
|--------------------------------------|---|---|
| 事故等番号 | 2009神第3号 | |
| 事故等名 | 貨物船新英寛漁船公栄丸衝突 | |
| 発生年月日時刻 | 平成20年12月23日12時45分ごろ | |
| 発生場所 | 紀伊宮崎ノ鼻灯台から真方位263° 5.1海里 (北緯34° 03'、東経134° 58') | |
| 事故等調査の経過 | 調査の概要:平成21年1月6日 神戸・地方事故調査官が、A船長から損傷状況を電話聴取 平成21年1月8日 B船長から損傷状況を電話聴取 原因関係者からの意見聴取:意見なし | |
| 事実情報 | | |
| 船種・船名・総トン数 船舶番号(IMO 番号) 船舶所有者等 | A 貨物船 新英寛 699トン 134800 中野汽船有限公司 | |
| 船種・船名・総トン数 船舶番号(IMO 番号) 船舶所有者等 | B 漁船 公栄丸 4.99トン WK3-17269 個人所有 | |
| 乗組員等に関する情報 | A 二等航海士 四級海技士(航海) B 船長 一級小型船舶操縦士 | |
| 負傷者 | A なし B なし | |
| 損害 | A 船首部に擦過傷 B 左舷船尾部損壊等 | |
| 事故等の経過 | A船は、石灰石2,000トンを積載して、高知港を発し、和歌山下津港に向けて航行し、B船は、底引き網漁の目的で、和歌山県雑賀崎漁港を発し、同港西方沖合で漁ろうに從事していたが、平成20年12月23日12時45分ごろ、A船の船首とB船の左舷船尾部とが衝突した。 気象・海象は平穏であった。 | |
| 分析 | 気象・海象の関与 乗組員等の関与 船体・機関等の関与 判明した事項の解析 | なし あり なし A船が、漁ろうに從事しているB船に気付かず航行した可能性があると考えられる。 B船が、衝突を避けるための協力動作をとらなかった可能性があると考えられる。 |
| 原因 | 本事故は、A船が漁ろうに從事しているB船に気付かず航行し、また、B船が接近するA船に対し、衝突を避けるための協力動作をとらなかったため、両船が衝突したことにより発生した可能性があると考えられる。 | |
| その他の事項 | なし | |